

#1: 申命記の内在的な意義—キリストについての書

2020/2/24-3/1 OLが長いので、Overviewは省略

I. 申命記は律法の書の結びの言葉であり、モーセが書いた聖書の最初の五巻(モーセの五書)のすべてを含む結論を与えます: **A.** 「申命記(Deuteronomy)」は「第二の律法」を意味し、こうして神聖な律法を再び語ることを、繰り返し語ることを表徴します。

B. 律法は一回目に、八十歳の時のモーセを通して与えられました。四十年後、カレブとヨシュアを除いて、第一世代が死に絶えた後、律法がイスラエルの子たちに再び語られました。今回は第二世代に、すなわち良き地に入ってそれを所有する用意がある世代に語られました: **1.** 私たちは良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、不信仰という邪悪な心を持たないように気をつけなければなりません。 **ヘブル3:12** 兄弟たちよ、あなたがたのうちのだれも、不信仰という邪悪な心を持って、生ける神から落ちていくことがないように気をつけなさい。 **4:2** ところが、その聞いた言は、彼らにとって益となりませんでした。それが聞いた者たちの中で、信仰と混ざり合わされなかったからです。 **2.** 私たちは良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、つぶやき(不満と隠れたつぶやき、愚痴、不平)に気をつけなければなりません。 **詩106:25** 彼らの天幕でつぶやき、エホバの御声に聞き従わなかった。

3. 私たちは良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、その地で衰えていくことに気をつけなければなりません。「衰える」という言葉が暗示するのは、習慣の影響、あるいは同じ地点に長く住むことによって、霊的な新鮮さを失うこと、当初の印象が不鮮明になることです。 **月**

C. 第二世代の大部分は、シナイ山で十戒、おきて、規定が与えられたことを聞いていませんでした。ですから、神はモーセに負担を与えて、律法を再び語らせ、繰り返し語らせました。この再び語ることは更新された訓練であり、イスラエルの子たちの新しい世代が長くさまよった後、彼らに与えられ、彼らを備えて、彼らが神によって約束された良き地に入り、それを彼らの所有として受け継ぐようにしました。

II. 二つの世代が、文字どおりの意味においてだけでなく、予表の意味においても解釈されるべきです。第一世代は私たちの古い人を予表し、第二世代は私たちの新しい人を予表します: **A.** パウロが I コリントを書いた意図は、聖徒たちを助けて、古い人が死に絶え、新しい人が成長するのを経験させることでした。 **B.** II コリントにおいて、良き地が予表するのは、手順を経た三一の神の具体化としてのキリストご自身が、神聖な恵みとして私たちに与えられて、私たちに享受させるということです。

C. 私たちは、命において成長して、すべてを含むキリスト(すなわち、神の約束された地)を完全に所有し、享受する者となる必要があります。命において成長することは、古い世代を消し去り、私たちの思い、感情、意志において新しくされて、私たちが造り変えられることです。造り変えは、古い人を死に絶えさせ、新しい人を成長させることです。

D. 神のエコノミーは、私たちの古い人(外なる人)が朽ちていき、私たちの新しい人(内なる人)が日ごとに新しくされるようにすることです。 **II コリント4:16** こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。

E. 造り変えは内側の新陳代謝の過程であり、神はその中で働いて、彼の神聖な命と性質を、私たちの存在のあらゆる部分、特に私たちの魂に拡大し、キリストと彼の豊富を私たちの存在の中へともたらして、私たちの新しい要

素とし、私たちの古い、天然の要素が徐々に排出されるようにします。 **ローマ12:2** またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。

F. 主のあわれみと恵みによって、私たちは主の回復の中へと入って来た後、新陳代謝的な変化が私たちの内側で起こりつつあります。これは新しくされることを経験させて、私たちが命において成長し、命において造り変えられて、キリストを私たちの良き地として享受することへと私たちをもたらすことであり、神の建造と王国のためです。 **火**

III. ローマ 10:6~9 でパウロは、モーセが申命記 30:11~14 で語った言葉をキリストに適用しています。これが示すのは、戒め、すなわち神の言葉が、言としてのキリストであり、彼は神の口から出て来た息として、私たちの心の中に、また私たちの口の中にあるということです: 申 30:11 この戒めは、あなたにとって難しすぎるものではなく、遠くにあるものでもない。 **12** それは天にあるのではないから、「だれが私たちのために天に上り、それを取って来て、私たちに聞かせ、行なわせるのか?」と言うようなものではない。 **13** また、それは海のかなたにあるのではないから、「だれが私たちのために海を渡り、それを取って来て、私たちに聞かせ、行なわせるのか?」と言うようなものでもない。 **14** 言葉はあなたのすぐ近くにある。あなたの口の中に、またあなたの心の中にあるので、あなたはそれを行なうことができる。

ローマ 10:6 ところが、信仰に基づく義はこう語っています、「あなたの心の中で、『だれが天に昇るであろうか?』とってはならない」。それは、キリストを引き下ろすことです。 **7** あるいは、「『だれがアビスに下るであろうか?』とってはならない」。それは、キリストを死人の中から引き上げることです。 **8** それでは何と言っていますか? 「言葉はあなたに近い。あなたの口の中に、またあなたの心の中にある」。これは、私たちが宣べ伝えている信仰の言葉です。

A. 申命記 30:12 の「それ」は、11 節の戒めを指しています。神の戒めは言葉であり、キリストは神の唯一の言葉です:

1. 13 節は海について語っていますが、ローマ 10:7 でパウロはアビスについて語っています。それは、キリストが彼の死後、また彼の復活の前に訪れた所であり、その所はハデス[陰府]、死の領域、すなわち地のさらに低い所を指しています。

2. 「キリストを引き下ろすこと」は、キリストの肉体と成ることを指しています。「キリストを死人の中から引き上げること」は、キリストの復活を指しています。キリストは天から下って来ることによって肉体と成り、十字架につけられ、またハデス[陰府](アビス)から上って来ることによって復活させられました。 **3.** 私たちが申命記 30:11~14 とローマ 10:6~9 を一緒にするとき、キリストに関する満ち満ちた絵があります。この絵において、キリストが肉体と成ったこと、彼が十字架につけられ葬られたこと、彼がアビスに行ったこと、彼が死人の中から起き上がったこと、彼が復活において息、すなわち命を与える霊と成ったことを見ます。キリストが申命記全体を通して明らかにされていると私たちが言うのは、これが根拠です。

4. こうして、キリストは生ける御言、すなわちその霊と成って、私たちの口の中に、また私たちの心の中にあります。それは空気、息が、私たちの存在の中へと取り入れられることができるようにです。彼は近く、便利であり、私たちが彼を呼び求めることによって、私たちの命の供給、私たちの力、私たちのすべてとして受け入れます。

5. 神の御言として、肉体と成り、十字架につけられ、復活したキリストご自身は、命を与える霊と成り、語る神によって息吹き出された息として、律法の言葉であり、戒め、おきて、規定を含み、申命記でモーセによって繰り返し語られています。申命記で、「律法」、「戒め」、「おきて」、「規定」、「裁き」のような表現は、キリストの同義語です。 **水**

B. 申命記8:3は言います、「人はパンだけで生きるのではなく、人はエホバの口から出るすべてのものによって生きる」。マタイ4:4で、「すべてのもの」が「すべての言葉」に置き換えられており、律法、戒め、おきて、規定が、神の口から出る言葉であることを指しています：**申8:3 彼はあなたをへりくだらせ、飢えさせて、…マナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではなく、人はエホバの口から出るすべてのものによって生きることを、彼があなたに知らせるためであった。** 1. 申命記で、律法、戒め、おきて、規定はすべて神の言葉であり、神の言葉の総合計、集大成はキリストです。ですから、神の口から出るすべての言葉によって生きることは、神聖な息の具体化であるキリストによって生きることです。 2. 申命記におけるすべての言葉は神の息吹であり、神の息吹は完全にキリストの中に具体化されています。私たちは申命記を読むとき、神が吐き出したすべて、彼が息吹き出したすべてを吸い込む必要があります。私たちは申命記における神聖な息を吸い込むことによって、神聖な息の具体化であるキリストを享受します。私たちは語る神の息を受け入れれば受け入れるほど、ますますキリストを享受します。

3. イスラエルの子たちは、戒め、おきて、規定を守るように命じられましたが、今日私たちはキリストを守る必要があります。キリストを取り、キリストを守り、キリストに堅く結び付くことによって、私たちは彼を獲得し、彼を享受し、彼を生きます。私たちはキリストを愛し、キリストを守り、キリストを教え、キリストを身に着け、キリストを書きます。

4. 神はキリストによって神の民を、キリストの予告である良き地に導いており、やはりキリスト、すなわち神の口から出るすべてのものによって、良き地への途上で彼らを支えていました。申命記におけるすべての言葉はキリストご自身であり、彼は今や神の言葉であって、私たちは彼を命また命の供給として受けます。

5. 聖書は神の息吹き出したもの、神の吐くものであるもので、私たちはすべての祈りによって神の言葉を受け取り、聖書を吸い込むべきです。私たちは聖書を教えているとき、神を人々の中へと吹き込むべきです。 **IIテモテ3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。** **水**

IV. **私たちは律法のあらゆる部分(すべての戒め、規定、おきて、教訓、裁き)を、私たちの愛する神が息吹き出した言葉とすると、律法を神の生ける言葉として持ちます。その霊は、神であるすべての実際です。ですから、キリストはその霊として、律法の実際です:** A. 律法は神の生ける言葉として、機能して生ける神を、彼を追い求める者たちに供給します。 **詩119:88 あなたの慈愛にしたがって、私を生かしてください。私はあなたの口の証しを守ります。**

B. 律法は神の生ける言葉として、機能して神ご自身を命また光として、律法を愛する者たちの中へと分与します。

C. 律法は神の生ける言葉として、機能して人の魂を生き返らせ、人の心を喜ばせます。 D. 律法は神の生ける言葉として、機能して救いをもたらします。 E. 律法は神の生ける言葉として、機能して私たちを強め、慰め、養います。

F. 律法は神の生ける言葉として、機能して私たちを支え、安全に守り、待ち望むようにします。

G. 律法は神の生ける言葉として、神を私たちの分け前として享受させます。 **詩119:57 エホバは私の分け前です。私はあなたの言葉を守ることを約束しました。**

H. 律法は神の生ける言葉として、神の御顔と、彼の御顔の輝きを享受させます。 **58 私は心を尽くしてあなたの恩恵を懇願します。あなたの言葉にしたがって、私に恵み深くあってください。** I. 律法は神の生ける言葉として、神を私たちの隠れ場と盾として享受させ、また神の助けと良く扱うこととして享受させます。 J. 律法は神の生ける言葉として、機能して私たちを賢くし、私たちに理解力を与えます。 K. 律法は神の生ける言葉として、機能して私たちに正しい識別と知識を与えます。

L. 律法は神の生ける言葉として、機能して罪を犯すことから、またあらゆる悪の路から私たちを守ります。

M. 律法は神の生ける言葉として、私たちをつまずきから守り、私たちの歩みを確かにし、罪科に打ち勝たせます。

N. 私たちが神を愛し、へりくだり、律法を神の生ける言葉と考へ、それを通して神と接触し、彼の中に住むなら、律法は経路となり、それを通して神聖な命と実質が私たちに伝達され、私たちの供給と養いとなります。私たちは神の言葉としての律法を通して神の実質が注入されて、命、性質、表現において神と一になり、自然に神を表現し神の律法に符合する生活をします。 **金**

V. **申命記27:1~8に描写されている良き地の入り口の光景は、石の記念碑、祭壇、ささげ物を含みます。このすべての項目はキリストを予表します:** A. 記念碑の上に書かれた律法は、神ご自身の描写でした。ですから、記念碑が表徴するのは、神の生ける描写また神の具体化としてのキリストが、民の前に立って、神が何であるかにしたがって彼らに要求するということです。 B. 神の戒めが刻まれた石のすぐそばに、キリストの十字架を表徴する祭壇があり、そこで神の民は、予告においてキリストを彼らの全焼のささげ物として神にささげて、神を満足させ、またキリストを彼らの平安のささげ物として神にささげて、神聖な交わりの中で神と共に享受します。 **申27:6 自然のままの石で、エホバ・あなたの神の祭壇を築かなければならない。そしてその上に全焼のささげ物を、エホバ・あなたの神にささげなければならぬ。** 7 また、平安のささげ物を犠牲としてささげて、そこで食べ、エホバ・あなたの神の御前で喜び楽しまなければならぬ。 8 あなたはその石の上に、この律法のすべての言葉を非常にはっきりと書き記さなければならぬ。

C. 祭壇の上で犠牲として焼かれて、神を満足させるささげ物はまた、神のすべての要求に応じ要求を満たす方としてのキリストを表徴します。ですから、要求する神ご自身が肉体と成って来て、私たちの贖い主また私たちの身代わりとなり、要求を満たす方となりました。

D. このすばらしい光景が見せているのは、私たちが、要求する神、キリストの十字架、ささげ物としてのキリストご自身を通して、私たち自身の努力によってではなく、キリスト(私たちの良き地)の中へと入って、神がキリストの中で私たちに与えるすべての祝福を受けるということです。これらの祝福は、キリストの中で具体化され、その霊として実際化された、手順を経た三一の神ご自身です。 **水**

Crucial Point(1): 不信仰になると職場はこの世となり、信仰を持って祈ると職場は良き地となり、祝福される

ヘブル3:12 兄弟たちよ、あなたがたのうちのだれも、不信仰という邪悪な心を持って、生ける神から落ちていくことがないように気をつけなさい。…4:2 ところが、その聞いた言は、彼らにとって益となりませんでした。それが聞いた者たちの中で、信仰と混ざり合わされなかつたからです。

OL1:私たちは良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、不信仰という邪悪な心を持たないように気をつけなければなりません。**OL2:**私たちは良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、つぶやき(不満と隠れたつぶやき、愚痴、不平)に気をつけなければなりません。

OL3:私たちは良き地としてのキリストを完全に所有しようとするなら、その地で衰えていくことに気をつけなければなりません。「衰える」という言葉が暗示するのは、習慣の影響力、あるいは同じ地点に長く住むことによって、霊的な新鮮さを失うこと、当初の印象が不鮮明になることです。

カナンの地を探って来た者たちが戻ってきて、悪い報告をしました。…彼らは、イスラエルは決してその地を征服することはできない、もし彼らがそうしようとするなら、徹底的に打ち破られ、食い尽くされると断言しました。

多くの時、敵、邪悪な者はまさしく同じ事を私たちの内側で語ります。敵は言います、「すべてを含むキリストについて話してはいけません。キリストは良く、すばらしい。しかしあなたが入るのは絶対に不可能だ…良き地に入ることができると思ってもならない。それはとうていあなたの能力の及ばないことだ。あなたは決してできない」。…決して敵を信じてはいけません。…ヘブル 3 章は、これは不信仰という邪悪な心であると告げています。それは邪悪な者に占有された心であるので、邪悪な心と呼ばれます。私たちは主に、私たちの心を邪悪な者から救い出してくださるように求めなければなりません。私たちは祈らなければなりません、「主よ、私は良い心、信仰に満ちた心が欲しいのです。私はその地に入ることはできませんが、あなたはできます」。

ハレルヤ、私たちは十分に強いのです。…あなたは全能の神に結合されています。日ごとに彼の霊は神であるすべて、神が持つすべてをあなたの中へと伝達しておられます。彼はあなたのためにそれを成し遂げられます。あなたは彼との交わりを維持している限り、その地に入ることができるのです。…あなたにとって戦いは安息です。戦いは敵にとって敗北ですが、あなたにとっては食物です。ヨシュアとカレブは民に告げました、「恐れてはなりません。彼らは私たちの食物であるからです」(民 14:9)。

適用: 青年在職・大学院生編

日本の召会において、学校を卒業して働き始めると、召会生活の実行が困難になることがあります。その主な理由は、サタンの次のような語りかけを受け入れることにあります。敵サタンは、「仕事の要求が厳しいのでもっと残業すべきであり、祈りの集会や福音などに行っている場合じゃない」、「上司や先輩との人間関係を築く必要があるので、頻りに飲み会に参加しないと会社で干されてしまう。集会に行っている場合ではない」などとあなたを脅し、不信仰になるように語りかけます。一旦あなたが不信仰になると、召会生活について不満が出てきて、霊的に衰え、霊的な食欲を失います。不信仰と不信仰に基づく不平や衰えに対抗するため、あなたは神の言葉を良く聞き、祈り読みする必要があります。**ネヘミヤ1:6** 私は今あなたの御前で昼も夜も、あなたのしもべ、イスラエルの子たちのために祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエルの子たちの罪を告白します。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました。7 私たちはあなたに対して、限りなく腐敗しており、あなたのしもべモーセに命じられた戒めとおきてと規定を守りませんでした。8 どうか、あなたのしもべ、モーセに命じて言われた言葉を思い起こしてください、『あなたが忠信でないなら、私はあなたがたを人々の間に散らす。9 しかし、あなたがたが私に立ち返り、私の戒めを守って、それを行うなら、たとえ、あなたがたの散らされた

者が天の果てにいたとしても、私はそこから彼らを集め、私の名を住まわせるために、私が選んだ場所に連れ戻す』。…11 おお、主よ、どうか、あなたのしもべの祈りと、あなたの御名を畏れることを喜ぶあなたのしもべたちの祈りに、耳を傾けてください。どうか今日、あなたのしもべを榮えさせ、この人の前であわれみを得させてください」。

ここでネヘミヤは申命記の御言葉に従って神に祈りました。この後ネヘミヤは、当時不可能だと考えられていた宮と城壁の再建を完成させることが出来たのです。同様にあなたが御言葉を祈り読みし、信仰を持って祈るなら職場はあなたのこの世ではなく、良き地となり、あなたのビジネス・ライフは祝福されるでしょう。

祈り:「おお主イエスよ、不信仰はサタンの語りかけを聞くことから来ます。しかし、信仰は信仰の言葉を聞くことから来ます。主よ、あなたの御名を呼び求め、サタンからの言葉を吐き出し、信仰の言葉、聖書を用いて祈ります。信仰によって、要求に満ちた私のビジネス・ライフを良き地にします。信仰によって、ネヘミヤのように祈り、召会建造の腰になります。アーメン!」

Crucial Point(2):永遠の言であるキリストは、受肉、十字架、アビスに下ること、復活のプロセスを経て命を与える霊となった。この霊はキリストの言葉の中に具体化されている

OL1:私たちが申命記 30:11~14 とローマ 10:6~9 を一緒にするとき、キリストに関する満ち満ちた絵があります。この絵において、キリストが肉体と成ったこと、彼が十字架につけられ葬られたこと、彼がアビスに行ったこと、彼が死人の中から起き上がったこと、彼が復活において息、すなわち命を与える霊と成ったことを見ます。

OL2:こうして、キリストは生ける御言、すなわちその霊と成って、私たちの口の中に、また私たちの心の中にあります。それは空気、息が、私たちの存在の中へと取り入れられることができます。彼は近く、便利であり、私たちは彼を呼び求めることによって、私たちの命の供給、私たちの力、私たちのすべてとして受け入れます。

言葉としてのキリストは、すでに彼の肉体と成ることにおいて下って来られ、すでにアビスから…、彼の復活において出て来られました。彼は復活の中で、私たちが吸い込む息としての、命を与える霊と成られました。これは、彼が言葉であるだけでなく、その霊でもあることを意味します。私たちは彼の言葉を受けるとき、その霊を受けます。なぜなら、彼が私たちに語られる言葉は霊であり、命であるからです。

私たちは聖書を吸い込むことによって言葉を取るとき、自分自身ではできないことを、キリストの中で行なうことができます。パウロがピリピ人への手紙で言っていることを考えてください。それはモーセの言葉を繰り返し語ること、再び語ることです。**ピリピ 4:13** でパウロは宣言することができました、「私は、私を力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」。これらの「事柄」は8節に列記されており、パウロはそこで言っています、「何であれ真実なこと、何であれ誉れあること、何であれ義なること、何であれ純粋なこと、何であれ愛らしいこと、何であれ好評なこと、またもし何らかの徳があり、何らかの称賛があるなら、これらのことを考慮しなさい」。パウロはキリストの中にいる前、これらの事柄のどれも行なうことができませんでした。しかしキリスト、彼を力づけてくださる方の中で、彼はそれらをすべて行なうことができました。これはまた今日の私たちの経験となることができます。私たちはこの経験を持つとするなら、聖書、キリストの具体化を吸い込むことによって、神聖な三一を享受する必要があります。

適用: 新人及び青少年・大学生編

新人及び若い学生の皆さんは、永遠の言であるキリストが受肉し人となり、十字架上で贖いを成就し、アビスに下り、三日後に死から復活し、命を与える霊となり、今キリストの言葉の中に具体化されていることを認識して下さい。

ローマ 10:7 あるいは、『だれがアビスに下るであろうか?』
と言ってはならない。それは、キリストを死人の中から引き上げることです。**8** それでは何と言っていますか? 「言葉はあなたに近い。あなたの口の中に、またあなたの心の中にある」。これは、私たちが宣べ伝えている信仰の言葉です。**9** すなわち、あなたが自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神は彼を死人の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われます。

あなたが自分の霊と信仰を活用してキリストの言葉を語れば語るほど、あなたは命を与える霊で満たされます。言葉があなたの口の中にあるのは、ここの言葉が霊であるからです。あなたがその霊で満たされる時、キリストがあなたの命の供給、力、すべてとなります。

例えばあなたが試験勉強の中で、サタンに攻撃され、「お前は少しぐらい勉強しても成績が上がらないので、早く諦めて勉強なんかやめて、ゲームした方がいいんじゃないか」と訴えてきます。このようなサタンの訴えを聞けば聞くほどあなたは弱くなり勉強する気がなくなります。このような時、まず主の御名を呼び深呼吸し、サタンの言葉を吐き出して下さい。そして聖書の信仰の言葉を宣言し、御言葉を使って祈って下さい。主の霊はあなたに近く、あなたの口の中にさえおられるので、あなたが主の御名を呼び求め祈れば祈るほど、あなたは霊で満たされます。その時あなたはしんどい勉強に立ち向かう力を得ます。

祈り:「おお主イエスよ、あなたの私に対する言葉は、霊であり、命です。私が聞いた信仰の言葉、命を与える霊は私の口の中に、また心の中にあります。あなたは私に本当に近いです。主を賛美します。あなたの御名と御言葉を深呼吸し、信仰を吸い込み、不信仰を吐き出します。その時、キリストは私の力、知恵、すべてとなります。私が主の中で力強く、勉強し(あるいは仕事し)、前進することが出来ますように! アーメン!」

Crucial Point(3): 良き地に入るため、

御言葉により強められ、要求する神、キリストの贖い、ささげものとしてのキリストを経験する

OL1: 律法は神の生ける言葉として、機能して神ご自身を命また光として、律法を愛する者たちの中へと分与します。

OL2: 律法は神の生ける言葉として、機能して人の魂を生き返らせ、人の心を喜ばせます。**OL3:** 律法は神の生ける言葉として、機能して私たちに強め、慰め、養います。**OL4:** 律法は神の生ける言葉として、機能して私たちに支え、安全に守り、待ち望むようにします。

OL5: このすばらしい光景が見せているのは、私たちが、要求する神、キリストの十字架、ささげ物としてのキリストご自身を通して、私たち自身の努力によってではなく、キリスト(私たちの良き地)の中へと入って、神がキリストの中で私たちに与えるすべての祝福を受けるといことです。

神の御言は私たちに光を与えます。それはまた命を与えます。あなたが詩篇119篇を注意深く読むなら、生かすという言葉が何度も使われていることに気づくでしょう。「生かす」と訳されたヘブル語は、ギリシャ語と同じように、命を与えることを意味します。神の御言は私たちに光を与えます。そしてそれは私たちに生かし、活気づけ、私たちに命を与えます。神の御言のもう一つの機能は、人の魂を生き返らせ、人の心を喜ばせることです。私たちは御

言によって生かされるだけでなく、またそれによって生き返らされる必要があります。特に、しいたげられ、抑圧され、圧迫されているときにそうです。あなたは仕事で一日中働いた後、サタンの圧迫の下におり、生き返らされる必要があるでしょう。仕事から家に戻る途上で、時間を取って御言を読み、祈り、歌いなさい。あなたは、御言があなたの魂を生き返らせ、あなたの心を喜ばせることを見いだします。神の御言は私たちを養うとき、私たちに支えます。…それはまた私たちに安全に守り、待ち望むようにします。

宇宙には今日、キリストを私たちに明らかにするすばらしい光景(良き地の入り口の光景)があります。…第一に、この光景で、神の具体化としてのキリストが、彼であることにしたがつた要求を伴って、私たちの前に立っておられることを見ます。第二に、キリストの十字架を表徴する祭壇を見ます。私たちは彼の要求を満たすことができないので、彼が来て私たちの贖い主となり、私たちのために十字架でのろわれた方となってくださいました。要求する方が、こうして要求を満たす方です。この方は十字架につけられたとき、犠牲として火で焼き尽くされ、神を満足させ、彼の要求を満たされました。この光景が啓示しているのは、記念碑、祭壇、ささげ物を通して(要求する神、キリストの十字架、ささげ物としてのキリストご自身を通して)、私たちが良き地の中へと入るといことです。また記念碑、祭壇、ささげ物を通して、神がキリストの中で私たちに与えられるすべての祝福を、私たちは受けます。

適用: 奉仕者編

奉仕者としてあなたは先ず自分自身が良き地の享受に入り、次に兄弟姉妹を導いて良き地の享受に入らせる必要があります。良き地に入るため、**(1)**御言葉の機能にあずかる、**(2)**良き地の入り口の石の律法の記念碑、祭壇、ささげ物を経験する必要があります。

(1)言葉のすばらしい機能にあずかる:あなたは神の言葉に第一位を与える必要があります。神の言葉を聞いても、自分の観念を変えず、神に自分の考えを押し付けようとしてはいけません。御言葉が機能すれば、**(a)**あなたの内側に光を与えて照らし、命を与え、**(b)**魂を生き返らせ、喜ばせ、**(c)**強め、慰め、養い、**(d)**支え、安全に守り、望みを抱かせることができます。ハレルヤ! 御言葉のこれらの機能のゆえに、主に感謝します。あなたは実生活の中で、御言葉を適用する(実際に落とし込む)ことを学んでください。

(2)良き地の入り口にある三つの事: **(a)**律法の記念碑(要求する神)、**(b)**祭壇(贖い:キリストの十字架)、**(c)**ささげもの(神を満足させるためのささげものとしてのキリスト)を経験する必要があります。神の律法は先ずあなたに神の義、聖、栄光に従って要求します。しかし、あなたは律法の要求を満たせませんので、キリストの贖いによって、律法ののろいから贖われる必要があります。更にあなたは絶対に神のために生きたイエスの人性を経験して神を満足させる必要があります。これらを経験しなければ、あなたは良き地に入れませんし、他の人を良き地に導くこともできません。

祈り:「主よ、私はまだ十分にこの神の言葉を理解できません。しかし、たとえ私がまだ理解できなくても、私は御言葉に第一位を与えなければなりません。私の古い観念を照らし、思いを更新してください。更に私は、律法の記念碑である要求する神、キリストの十字架上の贖い、全焼のささげものとしてのキリストを取り経験します。主よ、私を強めてください。良き地の享受の中に入り、兄弟姉妹を助けて、良き地の享受に導くことができますように。アーメン!」